

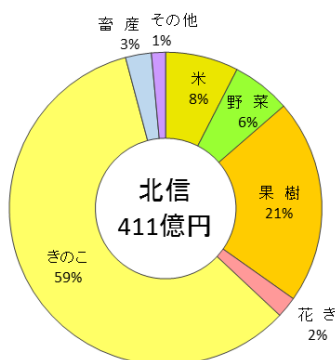
## 10 北信地域の発展方向

中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村  
野沢温泉村、栄村

～ 北信州 つなぎ育む 人・食・農 ～

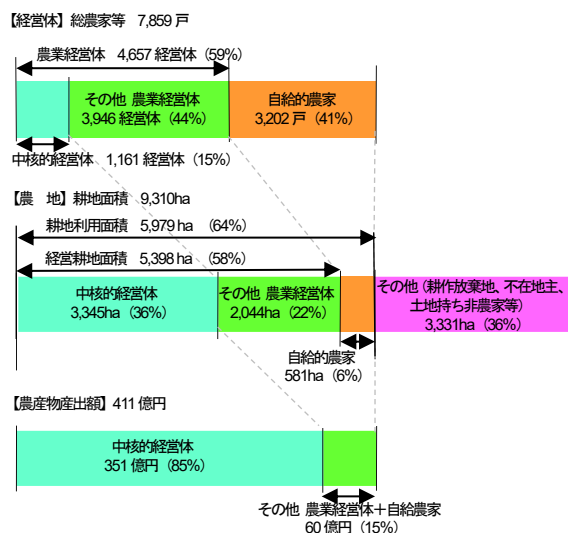
### 農業・農村の特徴

管内は、全国有数の豪雪地帯であり、えのきたけ等のきのこ、りんご・ぶどう・もも等の果樹、良食味の米、アスパラガス等の野菜、シャクヤク等の花き、肉用牛等の畜産など、地域の特性を活かして多様な農業が営まれています。



農産物産出額 (2015 年産)

【平成 27 年】(2015 農林業センサスより推計)



### めざす姿

#### I 次代へつなぐ北信農業

- 経営感覚に優れ十分な所得が得られる中核的経営体が育ち、多様な労働力が確保され、収益性の高い農業経営が展開されています。また、新規就農者、女性農業者、定年帰農者などの多様な担手が育成され、活力ある農業産地が実現しています。
- 需要に応じた良食味米や業務用米・酒米の生産、県オリジナル品種等の導入や施設化などにより高評価を得る果樹生産、戦略的な生産販売と取引先の信頼を高めたきのこ生産など、攻めの農業が展開され、市場競争力のある一大産地として発展しています。
- 野菜・花きは市場性の高い品目の再構築と、地域ブランドとしての畜産や伝統野菜の安定生産など、特色ある多彩な農業が展開されています。
- 基幹水利施設の更新や長寿命化、農地の耕作条件の改善や樹園地等の再整備など、農業を支える生産基盤が整備されています。

#### II 消費者とつながる北信の食

- 多くの飲食店、宿泊・学校給食施設等での地元農産物の活用・地消地産の拡大、学校・地域での子どもたちへの食育が進むなど、地元の「食」への理解が浸透しています。

#### III 人と人がつながる北信の農村

- 農業・農村の多面的機能の維持活動などを通して、地域住民の参加によりコミュニティが活性化しています。また、疏水・棚田、農業体験、郷土料理等の地域資源を観光に活かしたツーリズムが広がり、訪れる人たちとの交流が深まるなど、豊かな農村づくりが進展しています。

### 地域の特徴的な取組

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の生産を拡大します。
- 果樹有望新品種の導入・拡大とシャインマスカット等無核ぶどうの生産・長期出荷体制を強化します。
- きのこ経営管理力の強化、JGAP等安全・安心・環境対策を支援します。

## 施策の展開方向

### I 次代へつなぐ北信農業

#### 重点取組 1

経営向上をめざす優れた担い手の育成

産地では農業者の高齢化等が進み、担い手不足による生産力低下が懸念されるため、多様な担い手の確保が必要です。特に、経営力が高く十分な所得が得られる担い手育成が急務ですが、同時に新規就農者、女性農業者、定年帰農者など多様な担い手を多く育てることも重要です。

また、地域農業を担う経営体は、さらに経営を向上するために規模拡大や効率化が求められます。そのためには、地域ぐるみで経営体をサポートする仕組みや新たな雇用労力等が必要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□45歳未満の新規就農者数(単年度)	34人	36人
□中核的経営体数	1,226経営体	1,301経営体

#### 施策の展開方向

- 中核的経営体の確保と「カイゼン」等による生産性の向上
- 「農業道場」等による新規就農者の育成と多様な担い手の確保
- 農業法人など主要な経営体を支えるサポート体制の構築
- 多様な雇用労力の安定的確保
- 農地の利用集積（農地中間管理事業の活用）による規模拡大の促進



【北信州農業道場りんごコース】

#### 重点取組 2

米・果樹・きのこ 市場競争力のある強い産地づくり

食味に優れる米、品質がよくバラエティな品目に富む果樹、農産物産出額の6割を占めるきのこは、北信地域の基幹作目であり、県内・全国有数の産地です。

需要に応じた米生産、老木化等による果樹の生産力の低下、きのこの市場価格の低迷などの課題を乗り越え、さらなる産地力アップをめざすには、生産性の向上や低コスト化による収益の向上はもとより、安定生産や長期出荷体制の強化、高品質化や良食味の追求、安全・安心な農産物生産などに挑み、消費者・実需者等マーケット需要に即した信頼される産地づくりが必要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□良食味米、業務用米等の栽培面積	535ha	650ha
□果樹戦略品種等の栽培面積	253 ha	460ha

#### 施策の展開方向

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の生産拡大と収益性の高い米生産を推進
- 収益性の高い効率的な果樹経営と高品質な果実づくりを推進
- きのこ経営管理力の強化、JGAP等安全・安心・環境対策を支援
- 環境にやさしい農業やGAP等農産物の安全・安心な取組を強化



【シャインマスカット栽培(中野市)】

**重点取組 3****野菜・花き・畜産 特色ある多彩な農産物等の生産強化**

北信地域は、全国有数のアスパラガス・シャクヤクの産地であり、供給量・品質ともに、市場から高い評価を得ています。いずれの品目も土壌病害等による収量の減少が課題となっており、土壌管理等への対策に加えて長期出荷体制の確立による産地の再構築が重要です。

また、市場から求められている果菜類、露地花き品目の生産拡大も必要です。

一方、地域ブランドとなっている肉用牛・養豚等の畜産や地域特有の伝統野菜は、生産者の減少等が課題となっており、今後、地消地産を背景に様々な地元食材が求められる中で、特色ある農産物等の生産安定と販売強化が必要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□アスパラガスの新植・改植面積	89ha	135ha
□シャクヤクの栽培面積	53ha	60ha

**施策の展開方向**

- アスパラガス産地の再構築と果菜類（ズッキーニ・キュウリ等）を拡大
- シャクヤクの有利販売と露地花き品目（ソリダゴ・ヒペリカム等）を拡大
- 地域ブランドである畜産物の安定生産を支援
- ぼたんこしょう等の地域の特色ある伝統野菜の安定生産を支援



【シャクヤク栽培(飯山市)】

**重点取組 4****持続的な農業生産活動を支える基盤整備**

管内には、建設され年数が経過した農業用排水路が多く、施設の老朽化による漏水や分水施設（ゲート）の機能低下により、維持管理に支障をきたしています。また、畑・樹園地に設置された畑地かんがい施設も更新時期を迎えています。これらの基幹水利施設の機能保全計画を策定したことから、今後、計画に沿った長寿命化を図るための再整備や更新整備が必要です。

また、担い手への農地集積につながる農地の条件整備や、高収益性の高い農作物の導入に即した耕作条件の改良や改善を図り、農業生産の基盤となる農地や水利施設の整備が重要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□ 基幹水利施設（重要構造物）の整備箇所数	— 1か所	13か所
□ 畑地かんがい施設整備（再整備）面積	— ha	200ha

**施策の展開方向**

- 基幹水利施設の機能を維持するための機能保全計画の策定と整備・更新
- 畑・樹園地の収益性を維持し、高めるための畑地かんがい施設の整備・更新
- 担い手への農地集積につながる農地の耕作条件の改良・改善



【スプリンクラーによる樹園地かんがい】

## II 消費者とつながる北信の食

### 重点取組 5 地元「食」の魅力の共有・発信と地消地産の推進

全国に誇る農産物の産地である北信地域。品質やおいしさ、食べ方や郷土料理、生産する技術や想いなど、地元農産物や地元「食」の魅力について、農業関係者はもとより地域全体で共有し、県内外へ発信していく必要があります。

また、飲食店・宿泊・学校給食施設などにおける地元農産物の食材としての利用・地消地産の拡大、農産物直売所の供給力の強化、次代を担う子供たちへの食育など、関係者が一体となって「食」に関する活動を進めていくことが重要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□「おいしい信州ふード」SHOP登録数	91店	112店
□農産物直売所の販売額	15.6億円	17億円

#### 施策の展開方向

- おいしい信州ふード・地元農産物の魅力の共有と県内外への発信
- 飲食店、宿泊・学校給食施設等における地元農産物の食材利用・地消地産を促進
- 学校や地域において、次代を担う子どもたちを中心に食育を推進
- 地元農産物の販売拠点となる農産物直売所の機能強化を支援
- 農業者と2次・3次事業者が連携した6次産業化等による農産物の付加価値化を支援



【旅館「女将の会」への食材提案会】

## III 人と人がつながる北信の農村

### 重点取組 6 農村が有する多様な資源の維持・活用と農村の活性化

農村の暮らしを守り、農村・農地が持つ多面的な機能を維持するため、地すべり防止施設やため池などの防災減災対策はもとより、荒廃農地対策や野生鳥獣対策、地域ぐるみの共同活動など農村コミュニティの活性化が必要です。

また、疏水・棚田等の農業資産、民宿・農業体験・郷土料理等の農村資源を活かしたツーリズム・都市農村交流などによる農村の活性化が必要です。

達成指標	現状 (2016年)	目標 (2022年)
□多面的機能を維持発揮するための活動面積	3,503ha	3,639ha
□新たに観光資源として環境整備された疏水等の箇所数	— 箇所	2 箇所

#### 施策の展開方向

- 農業・農村の多面的機能の維持や農業生産活動の継続に向けた地域ぐるみの共同活動を支援
- 中山間地に立地する農村の保全（ため池・地すべり防止施設・水路の保全）
- 荒廃農地の発生防止や再生・活用と野生鳥獣対策を支援
- 地域住民の参加による農村コミュニティの活性化を支援
- 農業資産・農村資源を観光等に活用した農村の活性化を推進



【地域ぐるみでの水路の保全管理】